

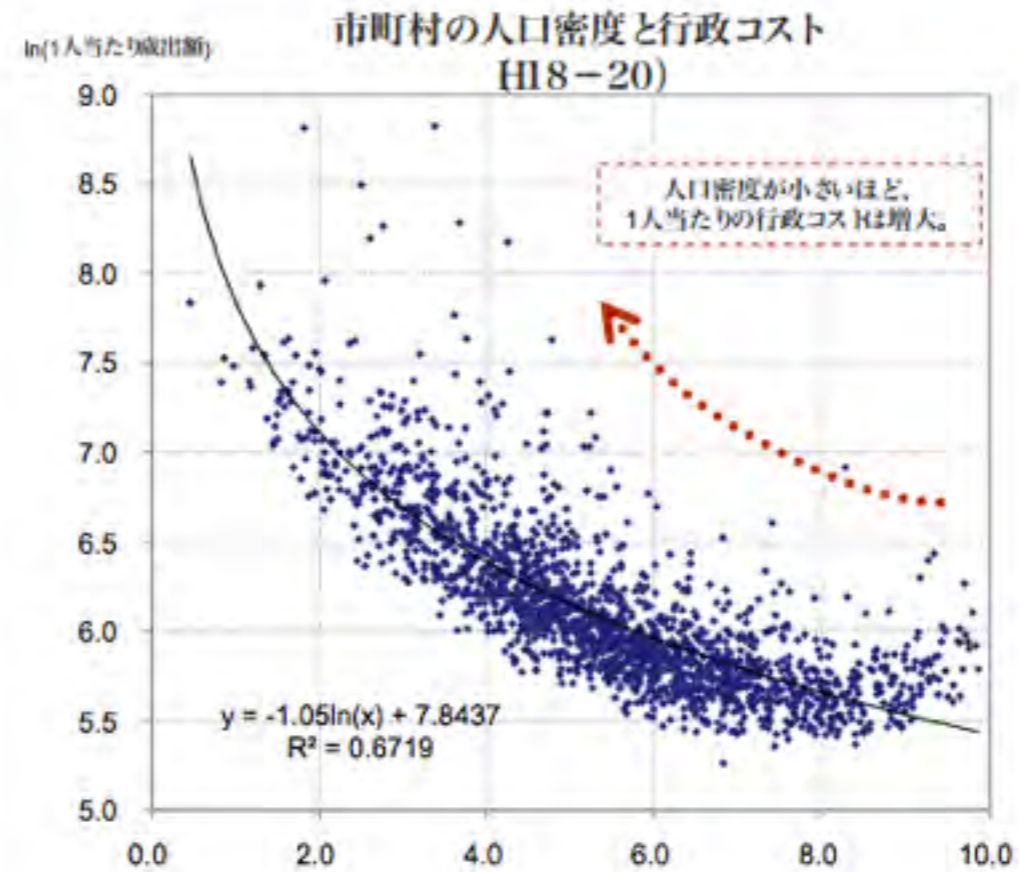
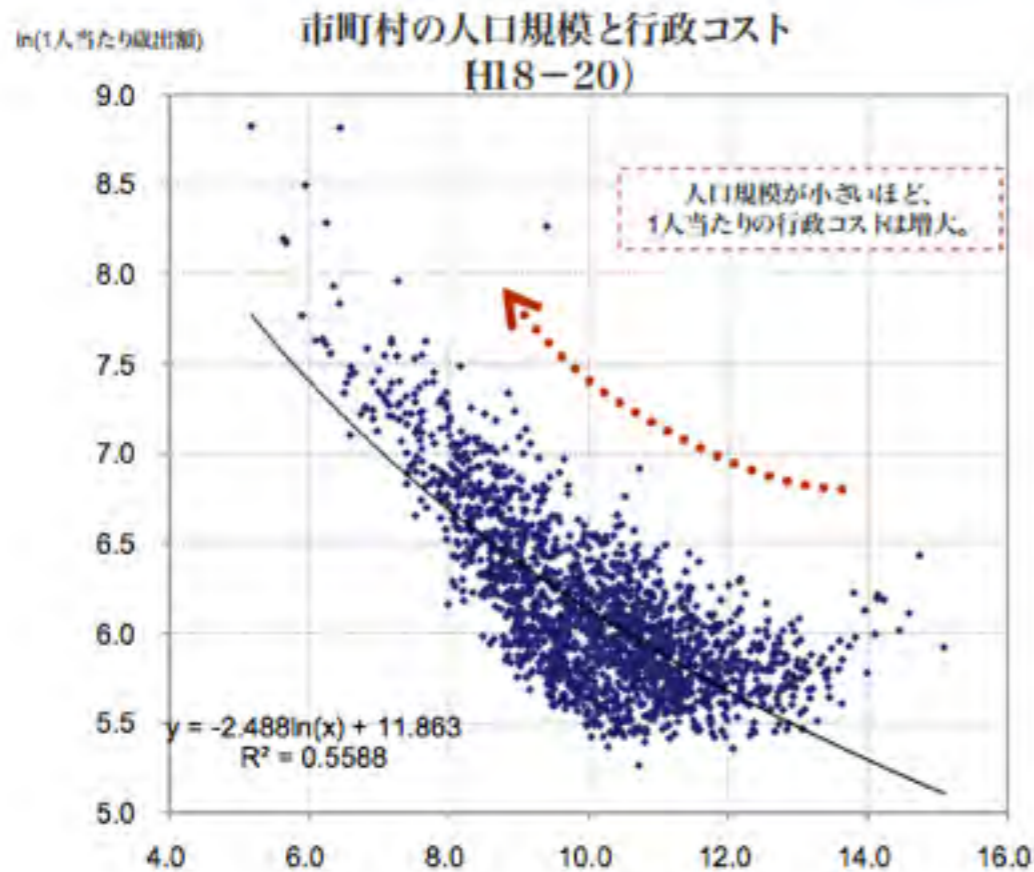
だから、私たちがいま
考えるべきなのは

人口が減ることを前提にした
地域づくりの考え方

人口が減るとなぜダメなの？

理由1：お金がかかる

○人口規模や人口密度の低下は、1人当たりの行政コストを上昇させる。



人口少ないほど
カネかかる

人口密度小さいほど
カネかかる

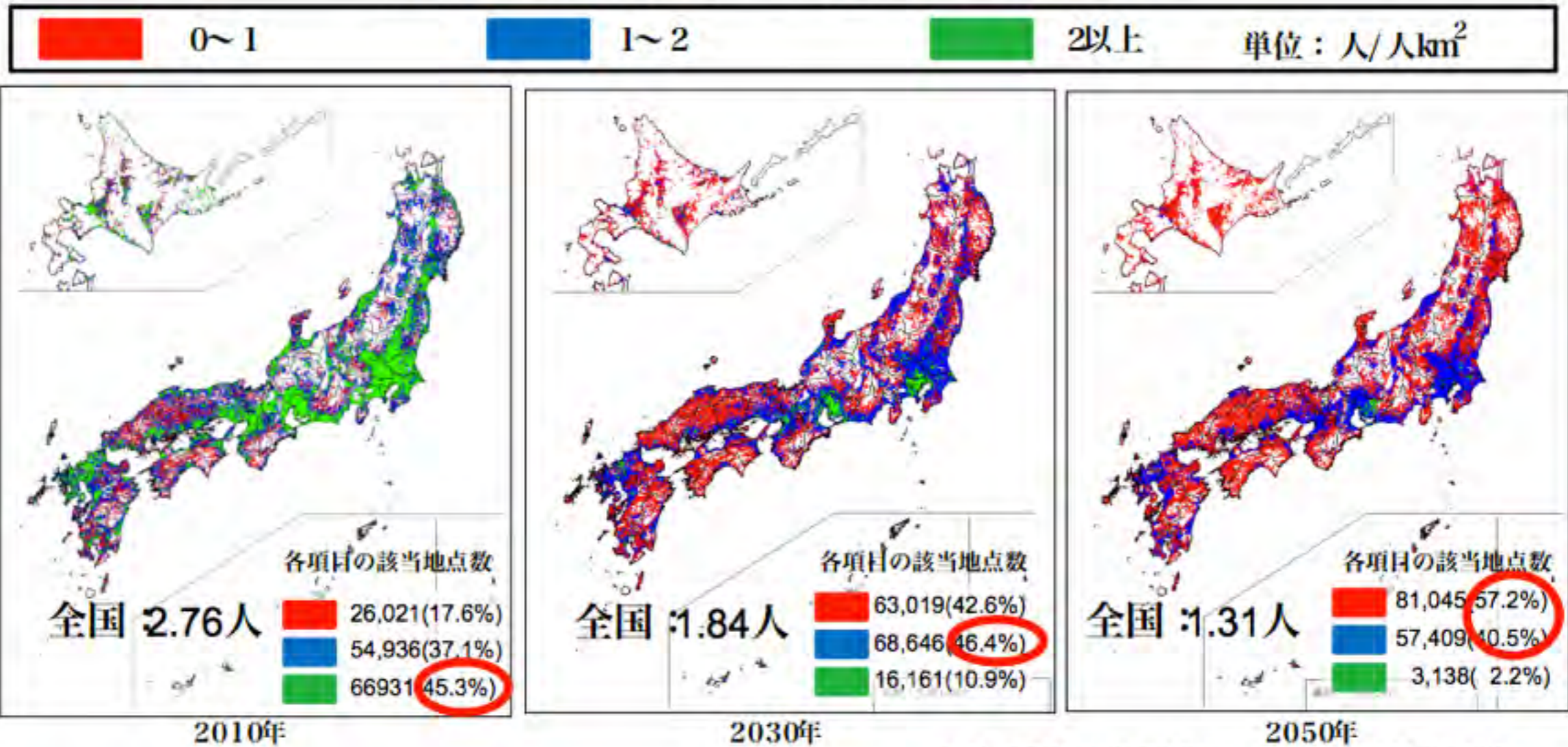
行政コストが上がる

理由2: お年寄りを支え切れない

人口が疎になる中、国土の大部分で地域扶助力が低下

○国土の大部分で人口が疎になる中、「高齢者1人あたりの生産年齢人口」は、ほとんどの地点において2人を下回る。

高齢者(65歳以上)1人あたりの「生産年齢(15~64歳)人口」の変化



(出典) 総務省「国勢調査報告」、国土交通省国土計画局推計値(メッシュ別将来人口)をもとに、同局作成

⇒地域の扶助力が極端に落ちた場合、行政への依存が増大するのではないか。例えば、災害時に、地域内の相互扶助が発揮されず、行政の負担が増大するなど、生じる現象を整理していく必要。

高齢者1人に対し、2.8人 → 1.3人

この他にも...

就労人口が減るから
生産性が下がる
とか...

学校や病院が維持できるか？
とか...

休耕農地がさらに増える
とか...

いろいろなことが言われていきます

小休止